

アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ
～芸術による元紛争地の復興支援～

ジャパンファウンデーションは、インドネシアのバンダ・アチェ（スマトラ島最北部、ナングル・アチェ・ダルサラム州の州都）にて、紛争で暴力被害にあつたり、家族を失った中学生・高校生を対象に、芸術を通じて彼らの「精神的な復興」を支援するための演劇ワークショップを開催します。

アチェといえば、2004年12月に発生したスマトラ沖地震とそれによる津波による甚大な被害が記憶に新しいところですが、それ以前より、約30年にわたって、アチェの独立を求める武装集団「GAM」（アチェ独立運動）とインドネシア政府との間で紛争が続き、一般市民からも多くの死傷者が出ていました。スマトラ沖地震の被害が一つの契機となる形で、2005年8月にインドネシア政府とGAMとの間で和平合意が締結され、アチェにおける特別自治を定めた「アチェ統治法」の制定、それに基づく州知事等の地方首長選挙など和平プロセスは順調に進み、現在は安定した情勢を保っています。

しかしながら、子どもたちの精神面、心理面での被害はまだ回復途上であり、真に平和な未来を建設するには、次世代を担う若者が自信や他人への信頼感を取り戻すことが不可欠です。その一助となるべく、日本とアチェの芸術家やNGOと協力して、子どもの表現から演劇作品を紡ぐ参加型ワークショップを実施するものです。

日程・場所 2007年4月7日（土）～15日（日）
サレ・スクール（Saree School、合宿ワークショップ）
アチェ州立博物館（完成作品発表）

参加者 紛争被害にあつた中学生・高校生 約30名

協力 コミュニタス・ティカール・パンダン（Komunitas Tikar Pandan）
参加芸術家 花崎攝（日本大学芸術学部講師）
すずきこーた（演劇デザインギルド理事）
アグス・ヌール・アマル（アチェ人ストーリーテラー、俳優）

詳細 http://www.jpff.go.jp/j/intel_j/news/0703/03-02.html

お問合せ： 国際交流基金 日本研究・知的交流部 アジア・大洋州課
担当：佐藤万帆（まほ） 電話：03-5562-3522